搬送要請医療機関へのお願い

航空医療搬送の特性を踏まえ、早めの相談を

本事業の対象となる症例では、医療機関と空港間の陸路搬送、空港間を結ぶ空路搬送、そして空港における引き継ぎなど全搬送行程において、集中的な医学的管理を継続するための事前準備及び対策が非常に重要となります。

また、航空機による搬送は、機体の確保、空港使用調整などが必要となり、さらに気象条件によって大きな影響を受けます。

要請センターへの相談または要請を早めていただくことで、メディカルディレクター※と主治医・運航スタッフとの間で、航空搬送の可否判断を含め、安全で確実な搬送方法を検討し、搬送前に医療資機材の調整や搬送シミュレーションなどに十分な時間を取ることが可能となります。

※メディカルディレクター：統括医療機関からの搬送要請情報を受け、運航要領に定める基準に基づき、医学的見地から固定翼機による搬送の可否を判断するとともに、搬送元及び搬送先医療機関並びに消防機関等との医学的な調整を行う航空医療に精通する医師。

情報調整担当者の選任を

メディカルウイングの運航までには、搬送元医療機関、搬送元及び搬送先空港、搬送先医療機関、連携機関（主に消防機関など）との間で、さまざまな事前調整を必要とします。これまでの出動事例でも、多岐の連絡調整の窓口を主治医の先生が担当すると負担が大きいとのご指摘を受けています。そこで、要請元医療機関におかれましては、要請時にできる限り連絡担当者の選任をお願いいたします。

北海道患者搬送固定翼機（メディカルウイング）運航事業

- 実施団体　北海道
- 受託事業者　北海道航空医療ネットワーク研究会（HAMN）
- 統括医療機関　札幌医科大学附属病院
- 運航管理病院　手稲渓仁会病院
- 搬送担当運航会社　中日本航空（本社・愛知県）
- 問い合わせ先　北海道航空医療ネットワーク研究会
  （事務局・北海道医師会事業第三課 TEL 011-231-1726）

メディカルウイング 利用ガイドライン

Medical Wings



道内医師の要請を受けて
高度・専門医療を必要とする
患者の広域搬送に対応します。

北海道が全国に先駆けて本格運用を開始した患者搬送用小型ジェット機「メディカルウイング」。

道内医療機関の医師の要請を受けて、地域の医療機関では提供できない高度・専門医療を必要とする患者を、道内外の医療機関に医師の医学的管理下で搬送いたします。
長距離患者搬送の有効な選択肢となるメディカルウイングの利用要件や、これまでの搬送事例などについて、本ガイドラインをご参照ください。

北海道患者搬送固定翼機（メディカルウイング）運航事業

実施主体：北海道　受託事業者：北海道航空医療ネットワーク研究会（HAMN）

Medical Wings 利用要件 Q & A

Q 搬送の対象となる患者は？

A 道内の医療機関に入院治療中の患者で、
次の基準をすべて満たしていることが条件です。

①入院する地域の医療機関では提供できない高度・専門的医療を必要としている。
②高度・専門医療機関への転院・治療により、症状および生命・機能予後の改善が期待できる。
③搬送中に医師の継続的な医学的管理を必要とする。
④搬送環境や搬送時間などの必要条件により、メディカルウイングでの搬送が適当と認められる。
⑤小児バックトランスファー
※北海道患者搬送固定翼機運航事業運航要領参照（下二次元コードから）

Q 搬送要請の方法は？

A 搬送要請する医療機関の医師は、搬送先医療機関を調整・決定した上で、

①メディカルウイング要請センター（札幌医科大学附属病院）に**電話で出動要請**します。詳しい要請手順は右ページ参照。
②北海道航空医療ネットワーク研究会のホームページから、搬送要請に必要な各種書類をダウンロードできます。
（右二次元コードから）
http://www.hokkaido.med.or.jp/hamn/medicalwings2

北海道航空医療
ネットワーク研究会 HP

Q 緊急時（要請当日）の搬送は？

A メディカルディレクターが搬送可能と判断し、かつ航空機および空港や消防機関等の関係機関との調整がつけば可能です。

Q 搬送にかかる費用負担は？

A 平成29年度から、メディカルウイングは国庫補助事業の「へき地保健医療対策等実施要綱」に追加され、搬送費用は公費で賄われるため、利用者の費用負担は発生しません。

北海道小児バックトランスファー固定翼機運航事業について

令和5年8月から、都市部の高度専門医療機関で治療を受けた15歳未満の小児患者を、住み慣れた地域（地元）に搬送する事業を行っており、令和7年3月までに6件の実績がありました。高度専門医療機関のベッドを確保して新たな患者を受け入れることができるほか、早期退院・搬送により母子分離期間の短縮や患者家族・医療従事者の負担が軽減し、小児救急医療体制の確保を図っています。

搬送要請手順

道内医療機関において航空搬送の対象となる患者が発生

01 搬送元医療機関において、搬送先医療機関を調整・決定する。

02 搬送元医療機関と搬送先医療機関でメディカルウイングに搭乗する医師および看護師等を調整・決定する。
＊原則、搬送元または搬送先医療機関の医師の搭乗が必要となりますが、確保できない場合は、出動要請時にメディカルウイング要請センターにご相談願います

03 搬送元医療機関は
メディカルウイング要請センター（札幌医科大学附属病院）に
電話で出動要請し、搬送情報伝達票を**FAX送信**する。

TEL：0570-050-283
FAX：0120-002-078

※相談・搬送要請受付時間／8:45～16:30　※非通知設定からは利用できません

04 メディカルディレクター※1が搬送元医療機関に電話連絡し、詳細な患者情報を聞き取りします。
＊運航要領に基づきメディカルディレクターが搬送可能と判断した場合は、運航管理者等と運航の可否を検討し、搬送を決定します
※1メディカルディレクター：航空搬送に精通するコーディネーター役の医師

05 運航が決定した場合、メディカルウイング要請センター（札幌医科大学附属病院）が空港までの搬送手段等を確定させ、その後、中日本航空のＣＳ※2が各関係機関と調整を行います。
※2 CS（コミュニケーションスペシャリスト）：要請に基づき関係機関との連絡を行う者

06 搬送決定後、中日本航空のＣＳから搬送元医療機関に対し、地元消防機関へ救急搬送要請するよう連絡があります。

メディカルウイング

命の翼

宗谷・オホーツクなどの医療過疎地域から札幌・旭川などの都市部へ、道内から高度・専門医療機関が集積する関東・関西圏へ、さらに高度・専門医療機関で治療を受けた小児患者を地域（道内）の医療機関へ搬送するバックトランスファー事業も開始し、**8カ年で161例**の患者搬送を実施しています。

平成29（2017）年7月30日運航開始～
令和7（2025）年3月31日現在

01 メディカルウイングの優位性 長距離搬送



道内４つの圏域（道央・道東・道北・道南）に配備されるドクターヘリは、航続距離や運用規程の制約から原則各圏域を越えない搬送を任務としています。一方、メディカルウイングは道内全域を運航圏域に収め、離島を含む医療過疎地域等から札幌・旭川などの都市部へ、高度・専門医療機関が集積する関東・関西圏への長距離搬送にも対応します。

02 メディカルウイングの優位性 搬送時間短縮



道内間の事例（全142例）では、搬送元から搬送先医療機関到着までの平均所要時間は約2時間10分。特に稚内→札幌、釧路→札幌などの200kmを超える搬送をはじめ、道内→道外の長距離搬送（19例）においても、有意な時間短縮効果が立証されています。

03 メディカルウイングの優位性 機内環境



医療資機材を積んだ機内は活動スペースが確保され、低騒音で会話や聴診が可能であり、振動も比較的少ないことから、安定した医学的管理下での患者搬送に適応します。

使用機体

Cessna Citation V セスナ560型サイテーションV（右）

- 乗客数　医療用搬送時4名（医師・看護師等・患者・付添）
- 最大速度　793km／h／35,000ft
- 航続時間　4.5時間
- 航続距離　最大積載時2,685km

Beechcraft King Air 200 ビーチクラフト200型キングエア（左）

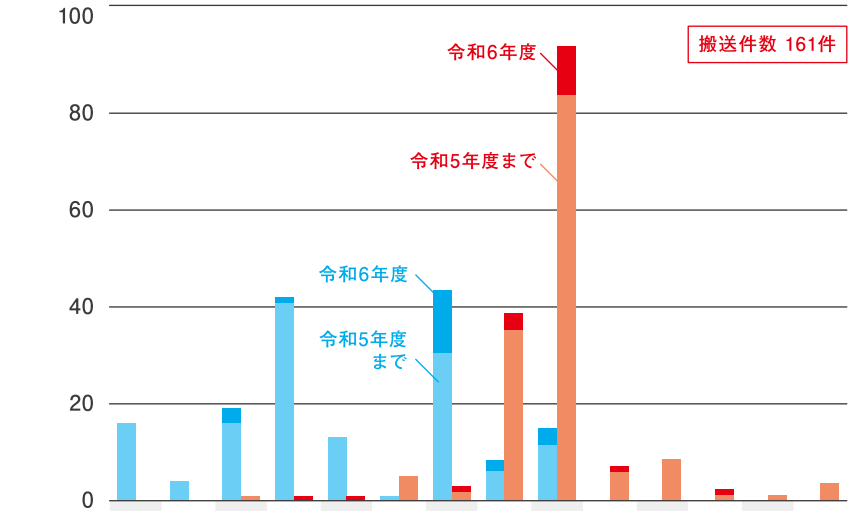
- 乗客数　医療用搬送時4名（医師・看護師等・患者・付添）
- 最大速度　533km／h／20,000ft
- 航続時間　4.5時間
- 航続距離　最大積載時1,129km



Medical Wings 搬送実績データ

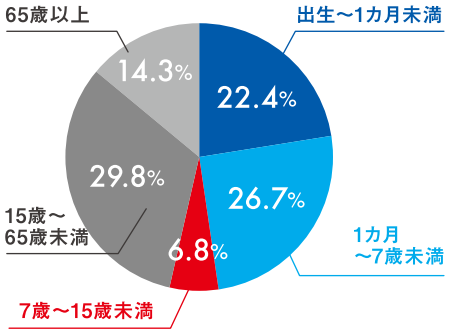
平成29（2017）年7月30日運航開始～令和7（2025）年3月31日現在
【平成29年～令和5年度は確定値、令和6年度は速報値】

●搬送元・搬送先空港の利用状況



	稚内	利尻	女満別	釧路	帯広	旭川	函館	新千歳	丘珠	羽田	伊丹	神戸	成田	仙台
搬送元空港	16	4	19	42	13	1	43	8	15	0	0	0	0	0
搬送先空港	0	0	1	1	1	5	3	39	92	6	7	2	1	3

●患者年齢区分

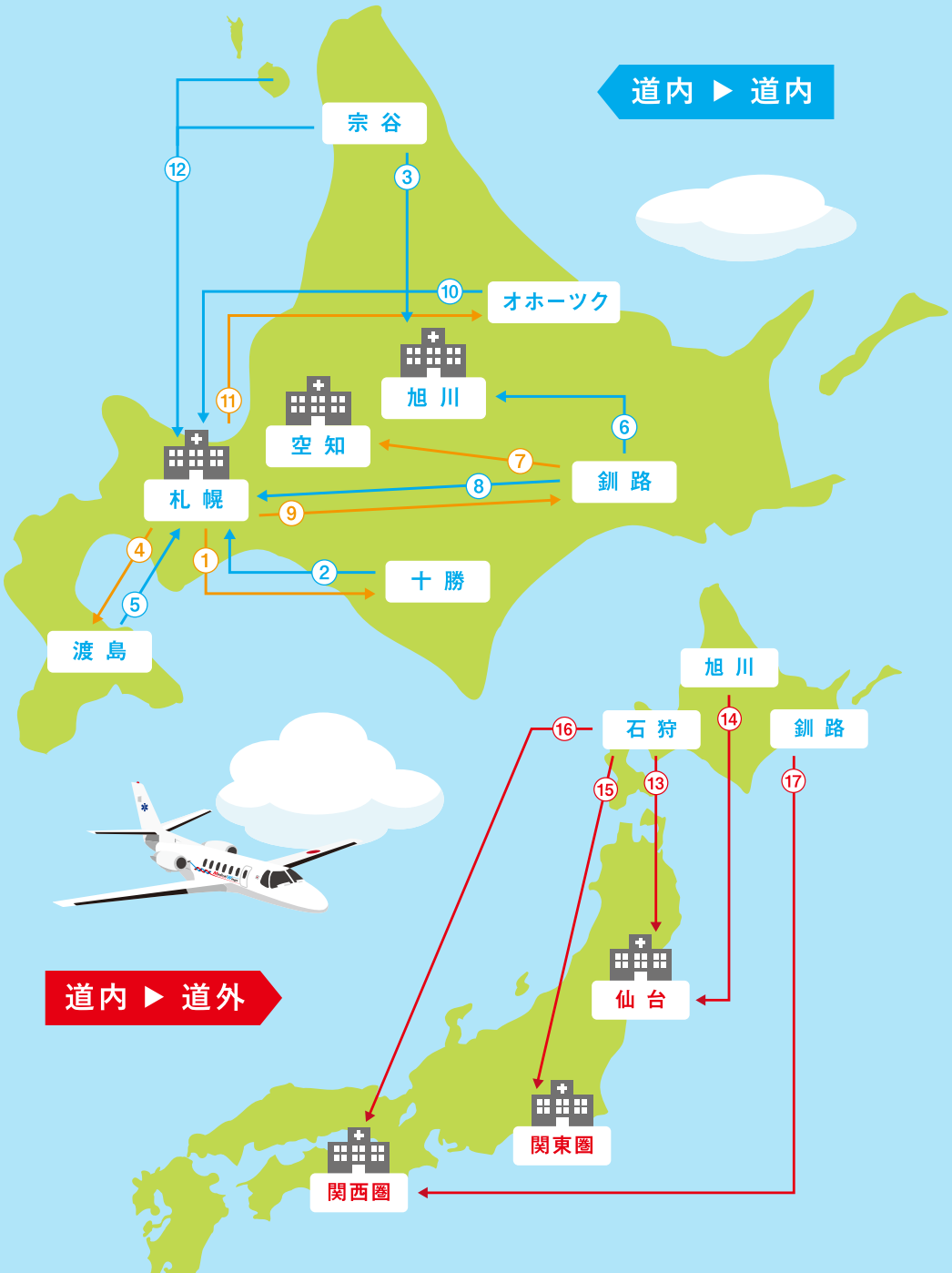


●患者疾患群

- 小児先天性疾患 …… 64例
- 心大血管系疾患 …… 27例
- 血液系疾患 …… 12例
- 呼吸器系疾患 …… 12例
- 消化器系疾患 …… 11例
- 外傷系疾患 …… 10例
- 脳神経系疾患 …… 9例
- 周産期系疾患 …… 3例
- その他 …… 13例

Medical Wings 搬送実績データ

平成29(2017)年7月30日運航開始
～令和7(2025)年3月31日現在



搬送距離と搬送時間

	搬送元医療機関所在地		搬送先医療機関所在地	
①	札 幌	199.0km 2時間09分	十 勝	1件(搬送件数)
②	十 勝	201.8km 1時間44分～2時間55分	札 幌	12件
③	宗 谷	240.8km 1時間28分～2時間11分	旭 川	4件
④	札 幌	255.0km 1時間54分～2時間46分	渡 島	3件
⑤	渡 島	296.5km 1時間27分～2時間35分	札 幌	43件
⑥	釧 路	273.0km 2時間13分	旭 川	1件
⑦	釧 路	298.5km 2時間19分～3時間05分	空 知	2件
⑧	釧 路	311.5km 1時間28分～3時間20分	札 幌	39件
⑨	札 幌	326.0km 2時間25分	釧 路	1件
⑩	オホーツク	312.2km 1時間45分～3時間33分	札 幌	19件
⑪	札 幌	319.0km 2時間27分	オホーツク	1件
⑫	宗 谷	358.6km 1時間35分～3時間05分	札 幌	16件
⑬	石 狩	778.0km 2時間45分～4時間21分	仙 台	2件
⑭	旭 川	936.0km 2時間53分	仙 台	1件
⑮	石 狩	1147.0km 3時間20分～5時間10分	関東圏	7件
⑯	石 狩	1548.4km 2時間05分～4時間36分	関西圏	8件
⑰	釧 路	1676.0km 4時間46分	関西圏	1件

●搬送距離／搬送元医療機関から搬送先医療機関までの平均陸送距離
●搬送時間／搬送元医療機関から搬送先医療機関までの最短～最長時間
※搬送時間は、搬送元医療機関から搬送元空港、搬送先空港から搬送先医療機関までの距離、気象条件等により異なる